

平成30年度第1回「佐世保市行財政改革推進会議(部会)」

〔名簿・議事要旨〕

■日時：平成30年7月27日(金) 15:00~17:00

■場所：佐世保市役所本庁4階 第4委員会室

■委員の出欠状況：出席者4名

[順不同・敬称略]

氏名	所属団体
おかみつまさ 岡 光正 (部会長)	佐世保商工会議所 議員
たきともりのり 滝 知則	長崎国際大学 人間社会学部 教授

氏名	所属団体
つな たつゆき 綱 辰幸	長崎県立大学 地域創造学部 教授 (学部長)
つる た たかあき 鶴田 貴明	公益財団法人 ながさき地域政策研究所 調査研究課長

■事務局出席者：<行財政改革推進局> 田所局長、大藤次長、石丸主幹、坂口主幹、副島課長補佐、森課長補佐

<財務部> 橋口部長、吉田次長兼財政課長、山口財政課財政係長、細川財政課係長

■議事：第6次佐世保市行財政改革推進計画(後期プラン)の進捗状況について

H30. 7. 27 行財政改革推進会議(部会) 第1回部会 (議事要旨)

● 第6次佐世保市行財政改革推進計画(後期プラン)の進捗状況について

質疑・意見等	応答
○主観的な評価になっているので、色々な視点からの評価があったほうがよいのではないかと。	◆当会議の場でご意見・ご指摘をいただき、それを踏まえた中で次のステップを進めていきたいと考えている。目標値を立てられないものをどう評価していくかについては課題と認識しており、第3次改革工程表に向けてどのように進めていくか検討したい。
○地区自治協議会は、町内会の経験者などが活動の主体となっていることが多いようだが、地域課題の解決にあたっては、働き盛りの世代、若い方のニーズもきちんと反映されたら良いと思う。	◆これまでは地区自治協議会を設立することが主な目的だったが、今後はどう運営していくかが課題となってくる。各地区自治協議会で設立時期の差異などもあるので、動きを注視しながら取組みを進めていきたい。
○民間活力の活用、財産の有効活用の観点からは、パークPFIのような新たな制度が導入されている。このような新しい制度は佐世保市としても検討すべきテーマではないかと。	◆新しくつくるところ(名切再構築、つくも苑跡地活用)については、パークPFI方式での検討も行っている。既存の都市公園については、公園の管理のあり方全体の課題検討にあたり、そういった観点を踏まえていきたい。
○職員の自発的な業務改善を進めるにあたっては、新しいしくみづくりが必要ではないかと。	◆自発的な改革の取組みをどう広げていくかについては苦慮しているところであり、引き続きアドバイスをいただきながら進めていきたい。

質疑・意見等	応答
○佐世保市では今年介護給付の適正化をやられると聞いているが、行革の視点でも一緒に取り組んではどうか。	◆医療と違って介護の場合は本人や家族の状態等を見ないとサービスが適正かわからず、難しい面もあると考えられるが、社会保障費の増という大きな課題への対応として必要な取組みであり、担当課の動きにも注視していきたい。
○市民協働推進計画（第3次）と地域コミュニティ推進計画の統合について検討するとあるが、どういう方向性なのか。	◆本年4月から佐世保市地域コミュニティ活性化条例が施行されている。町内会のあり方や地区自治協議会の位置づけについて条例に明記し、市として進めていくという姿勢を示しており、今後は地域コミュニティの中に市民協働も包含されていくという方向性と考えている。
○地域課題の解決に大学生等が関わっていただけると感じている。また、今後は外国籍の方が増えていく可能性があるので、そういった方が安心して生活できるような視点も必要。	◆愛媛県では愛媛大学と連携し、ワークショップの手法を用いて、地域交通のあり方や空き家対策などについての議論を始めている。こういった事例も参考にしていきたい。
○情報発信の件で、佐世保市のホームページは見にくい部分がある。また、行革の取組みについても、もっと市民にアピールすべきではないか。	◆行政としてつくると、どうしても表現が硬い部分などが出てきてしまうが、他自治体の事例もしながら、改善していきたい。
○行政評価と予算のリンクはどのようになっているのか。	◆各部局において評価を行い、財源を枠として配分された中で、各部局が優先順位、改革改善策などを考えていくしくみとなっている。現在、次期総合計画を策定する中で、あらためて整理を行っている。